

平成 29 年 2 月 6 日
記者発表資料

神奈川県営水道についての意識調査等調査結果(速報)

飲用・調理用で「そのままの水道水」を使用する人が増加

県営水道では、お客さまの水使用の動向や意識、ご意見やご要望を把握して、今後の事業運営の基礎資料として活用するために、個人と事業所等のお客さまを対象に標記調査を実施しました。この度、調査結果の速報がまとまりましたのでご報告いたします。

1 結果概要(速報)

- ・ 自宅でお茶やコーヒー等をいれたり、調理に使う場合において、「そのままの水道水」を使用している人が増加
- ・ 老朽化した水道管の更新の必要性の認知度は8割を超え、今後も更新を進めていくことを希望
- ・ 県営水道が今後力を入れるべきことは、地震などの災害時でも断水が起きないように取り組み、濁水等にも影響されない安定給水をする

※詳細は別紙1「主な調査結果」、別紙2「お客さま意識調査の結果(速報)」、別紙3「事業所調査の結果(速報)」参照

2 調査概要

項目	お客さま意識調査	事業所調査
調査対象	県営水道給水区域内在住 満 20 歳以上の 5,000 人 (住民基本台帳からの層化無作為抽出)	県営水道給水区域内に所在し、業務用料金を適用している、年間使用水量又は下水道排水量が 10,000 m ³ 以上の全事業所 (850 事業所)
調査方法	郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収	郵送による配布及び回収
調査期間	平成 28 年 11 月 1 日～11 月 15 日	
回収結果	有効回収数 2,975 件 (有効回収率 59.5%)	有効回収数 640 件 (有効回収率 75.3%)
調査内容	水道水等の使用状況、節水状況、県営水道が取り組むべき事業、水道料金の支払方法や仕組みへの意見、水道事業に関する知りたい情報等	水道水等の使用状況、節水状況、県営水道が取り組むべき事業、水道料金の仕組みへの意見、水道事業に関する知りたい情報等

問合せ先

神奈川県企業庁企業局水道部経営課
課長 山田 電話 045-210-7210
経営企画グループ 平野 電話 045-210-7219

個人：神奈川県営水道についてのお客さま意識調査
事業所：神奈川県営水道についての事業所調査

1 水道水の使用状況・満足度（個人のみ）に設問）

「そのままの水道水」を使用している人が増加し、水道水のおいしさの満足度は「満足・まあまあ満足」が8割を超える

自宅で、水をそのまま飲む場合、お茶、コーヒー、紅茶等をいれる場合、調理をする場合にわけて、どのような水を使用するか尋ねたところ、平成14年度調査と比較して、浄水器を通さない「そのままの水道水」を使用する人がでは9.3ポイント、では5.6ポイント増加した。

また、水道水のおいしさの満足度は「まあまあ満足している」(55.3%)と「満足している」(25.2%)を合わせると80.5%であった

【問1】 次のような場合、主にどのような水を使用していますか。
(N=2,975)

水をそのまま飲む場合	
「そのままの水道水」	35.8% (33.4%)
「浄水器を通した水道水」	32.4% (42.3%)
お茶、コーヒー、紅茶等をいれる場合	
「そのままの水道水」	52.8% (43.5%)
「浄水器を通した水道水」	35.0% (44.3%)
調理をする場合	
「そのままの水道水」	64.0% (58.4%)
「浄水器を通した水道水」	31.0% (37.6%)

* 別紙2 調査票【問1】の単純集計より抜粋

* ()内は、平成14年度実施「県営水道についてのお客さま意識調査」時の数値

2 水道管の老朽化による更新の必要性の認知度

老朽化した水道管の更新の必要性の認知度は8割を超え、今後も更新を進めていくことを希望

『地中に埋設された水道管も時間の経過とともに老朽化が進み、破損などにより漏水を引き起こすため、新しい水道管に更新していかなければならない。』ということ、8割以上(個人：82.0%、事業所：87.4%)のお客さまが認識しており、今後も更新を進めてほしいと望んでいる。

3 県営水道が今後力を入れるべき事業

地震などの災害時でも断水が起きないように取り組み、湯水等にも影響されない安定給水が望まれる

県営水道が今後力を入れるべき事業は何かと尋ねたところ、「地震やその他の災害時でも断水などがないように対策をすること」(個人：70.5%、事業所：83.4%)が最も多く、「湯水時にも給水制限などが無い安定した給水を行うこと」(個人：50.9%、事業所：70.0%)も多いことから、災害に強く、湯水に影響されない安定給水が望まれている。

「神奈川県営水道についてのお客さま意識調査」の結果（速報）

1 調査目的

お客さまの水使用に関する動向や意識、神奈川県営水道（以下、「県営水道」と言う。）についてのご意見やご要望を把握し、お客さまに信頼される事業運営の基礎資料として活用することを目的に実施した。

2 調査内容

（1）水道水の使用状況

自宅で主に使用している水
入浴状況

（2）水道水の水質の満足度と要望

水道水のおいしさの満足度
水道水への要望

（3）節水状況

日常の節水意識・行動
節水効果があると感じる設備や機器
節水効果があると感じる日常の行動

（4）県営水道において取り組むべき事業

水道事業者としての県営水道の認知
水道管の老朽化に伴う更新の必要性の認知と意見
県営水道が今後力を入れるべき事業

（5）水道料金の支払方法

現在の水道料金の支払方法
支払方法による割引制度等への意見

（6）水道料金の仕組み

基本水量及び基本料金への意見
従量料金の逡増制の考え方への意見
用途別料金の考え方への意見

（7）水道事業について知りたい情報

水道に関して知りたい情報
知りたい情報を得るための媒体

3 調査設計

調査対象地域	県営水道給水区域内の 12 市 6 町
調査対象	対象地域内在住 満 20 歳以上の男女
標本数	5,000 標本
標本抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送及びインターネットによる回収
調査期間	平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 15 日

4 回収結果

(1) 全体の回収結果

設計標本数	有効回収数	有効回収率
5,000 標本	2,975 標本	59.5%

(2) 地域別の回収結果

地 域	設計標本数	有効回収数	有効回収率
愛川町	15	5	33.3%
厚木市	400	233	58.2%
綾瀬市	150	91	60.7%
伊勢原市	180	110	61.1%
海老名市	230	142	61.7%
大磯町	55	38	69.1%
小田原市	20	16	80.0%
鎌倉市	310	191	61.6%
相模原市中央区	482	276	57.3%
相模原市南区	491	300	61.1%
相模原市緑区	312	200	64.1%
寒川町	85	51	60.0%
逗子市	105	60	57.1%
茅ヶ崎市	425	242	56.9%
二宮町	50	26	52.0%
箱根町	10	3	30.0%
葉山町	60	33	55.0%
平塚市	455	277	60.9%
藤沢市	750	434	57.9%
大和市	415	238	57.3%
無回答		9	
全 体	5,000	2,975	59.5%

5 結果の集計にあたって

結果数値は、小数点第 2 位を四捨五入してあるので、合計が 100.0%にならない場合がある。

6 回答者の属性

(1) 性別 (N = 2,975)

男性	44.5%
女性	55.1%
無回答	0.4%

(2) 年齢 (N = 2,975)

20～29 歳	8.6%
30～39 歳	11.5%
40～49 歳	17.6%
50～59 歳	15.7%
60～69 歳	20.9%
70 歳以上	25.2%
無回答	0.4%

(3) 家族の人数 (N = 2,975)

0 人	8.8%
1 人	28.0%
2 人	25.3%
3 人	20.8%
4 人	10.0%
5 人以上	6.7%
無回答	0.3%

(4) 居住形態 (N = 2,975)

一戸建て	74.3%
2 階建てまでの集合住宅 (団地、 アパート、マンション等)	6.4%
3 階建て以上の集合住宅 (団地、 アパート、マンション等)	18.9%
無回答	0.4%

(5) 回答者のご家庭の直近 2 ヶ月間の水道使用水量

(N = 2,975)

平均 (立方メートル)	36.4
---------------	------

(6) 居住地

(N = 2,975)

愛川町	0.2%
厚木市	7.8%
綾瀬市	3.1%
伊勢原市	3.7%
海老名市	4.8%
大磯町	1.3%
小田原市	0.5%
鎌倉市	6.4%
相模原市中央区	9.3%
相模原市南区	10.1%
相模原市緑区	6.7%
寒川町	1.7%
逗子市	2.0%
茅ヶ崎市	8.1%
二宮町	0.9%
箱根町	0.1%
葉山町	1.1%
平塚市	9.3%
藤沢市	14.6%
大和市	8.0%
無回答	0.3%

水道水の使用状況

【問1】あなたはご自宅で、次のA、B、Cのような場合、主にどのような水を使用していますか。

A、B、Cについて最も近いものをそれぞれ1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)

(%)

A 水をそのまま飲む場合			
1. そのままの水道水	35.8	4. ウォーターサーバー水	5.1
2. 浄水器を通した水道水	32.4	5. 自宅で水は飲まない	2.7
3. 市販のペットボトル水	19.0	6. その他(具体的に:)	2.8
		無回答	2.2
B お茶、コーヒー、紅茶等をいれる場合			
1. そのままの水道水	52.8	4. ウォーターサーバー水	4.1
2. 浄水器を通した水道水	35.0	5. 自宅でお茶、コーヒー、 紅茶等はいれない	0.8
3. 市販のペットボトル水	3.6	6. その他(具体的に:)	2.4
		無回答	1.3
C 調理をする場合			
1. そのままの水道水	64.0	4. ウォーターサーバー水	0.7
2. 浄水器を通した水道水	31.0	5. 自宅で調理はしない	0.5
3. 市販のペットボトル水	1.2	6. その他(具体的に:)	1.3
		無回答	1.2

【問1】のABCで、全て1を選択した方のみお答えください。

【問1-a】あなたが水道水をそのまま使用する理由を教えてください。

(いくつでも選び、をつけてください。)(N=1,003)

(%)

1. 安全で安心な水であるから	63.9
2. 他の水でも水道水でも味は変わらないから	22.7
3. 他の水を買うより値段が安いから	25.3
4. 特に理由はない	21.7
5. その他(具体的に:)	5.4
無回答	0.6

【問1】のABCで、**ひとつでも1以外のお答えがある方のみ**お答えください。

【問1 - b】あなたが水道水をそのまま使用しない理由を教えてください。

(**いくつでも**選び、 をつけてください。)(N=1,921)

(%)

1. 水道水の原水(湖、河川等)の水質に不安があるから	20.7
2. ミネラル分などの成分が欲しいから	11.8
3. 塩素等の薬品が体に与える影響が気になるから	30.3
4. 鉛管などの水道管に不安があるから	31.3
5. 受水槽の管理に不安があるから	10.2
6. 味がおいしくないから	32.8
7. 塩素臭やカビ臭などのにおいが気になるから	26.2
8. その他(具体的に:)	11.8
無回答	9.2

【問2】あなたのこの時期の自宅での入浴(シャワーのみも含む)の回数はどのくらいですか。

該当するものに**一つだけ** をつけ、**その回数**を記入してください。(N=2,975)

(%)

1. 毎日()回	82.5	3. 自宅では入浴しない	1.0
2. 1週間に()回	14.0	4. その他(具体的に:)	0.7
		無回答	1.8

【問2】で、**1又は2を選択した方**のみお答えください。

【問2 - a】そのうち、あなたは何回浴槽にお湯をためて入浴しますか。(N=2,874)

(%)

1. 毎日()回	60.0	3. 1度もためない(シャワーのみ)	8.4
2. 1週間に()回	26.5	4. その他(具体的に:)	3.7
		無回答	1.5

【問2 - a】で、**1又は2を選択した方**のみお答えください。

【問2 - b】浴槽のお湯を入れ替える頻度はどのくらいですか。(N=2,484)

(%)

1. 毎回入れ替える	63.3	3. 3回に1回入れ替える	10.5
2. 2回に1回入れ替える	22.6	4. その他(具体的に:)	2.1
		無回答	1.5

水道水の水質の満足度と要望

【問3】あなたは県営水道の水道水のおいしさについて、満足していますか。

(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)

(%)

1. 満足している	25.2	3. やや不満である	13.6
2. まあまあ満足している	55.3	4. 不満である	3.6
		無回答	2.3

【問4】あなたはどのような水道水を希望しますか。

(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)

(%)

1. 塩素臭やカビ臭など、においのない水道水	18.1
2. 味がおいしい水道水	13.2
3. 体に害のないことが明確にわかる安全安心な水道水	52.8
4. 今の水道水で満足している	12.1
5. その他(具体的に:)	0.7
無回答	3.0

節水状況

【問5】あなたは日頃から節水を意識して行動していますか。

(1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)

(%)

1. いつも節水をしている	34.2	3. 節水をしたいが、実行はしていない	14.6
2. 時々節水をしている	39.7	4. 特に節水はしていない	9.8
		無回答	1.7

【問6】あなたが節水に最も効果的であると感ずる設備や機器はどれですか。

実際に使用してなくても、イメージ等でご回答ください。

(1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)

(%)

1. 節水型トイレ	38.3	4. 節水型シャワー	21.7
2. ドラム式洗濯機	7.9	5. 特にない	18.6
3. 自動食器洗い機	7.3	6. その他(具体的に:)	2.8
		無回答	3.4

【問7】あなたが節水に最も効果的であると感じる日常の行動はどれですか。
 実際に行動をしていなくても、イメージ等でご回答ください。
 (1つだけ選び、 をつけてください。) (N = 2,975)

(%)

1. 洗面、食器洗い時のこまめな蛇口の開閉	51.7
2. 風呂の残り湯の庭への散水や洗濯等への活用	32.7
3. 雨水の活用	6.1
4. 特になし	6.5
5. その他(具体的に：)	1.0
無回答	2.1

県営水道において取り組むべき事業

【問8】水道事業は、水道法で基本的には市や町が行うことと定められていますが、水源がないなど、やむを得ない場合に、県等が行うことが認められています。あなたの家の水道事業者は、お住まいの市や町ではなく神奈川県営水道であるということをご存知ですか。
 全国で水道事業を行っている都道府県は5都県です。
 (東京都、千葉県、長野県、香川県、神奈川県) (N = 2,975)

(%)

1. 知っている	54.9	2. 知らなかった	44.0	無回答	1.1
----------	------	-----------	------	-----	-----

【問9】地中に埋設された水道管も時間の経過とともに老朽化が進み、破損などにより漏水を引き起こすため、新しい水道管に交換していかなければならないことをご存知ですか。
 (1つだけ選び、 をつけてください。) (N = 2,975)

(%)

1. 県営水道広報紙「さがみの水」を見て知っている	14.6
2. テレビ番組の特集等を見て知っている	21.2
3. 新聞・雑誌の記事等を見て知っている	7.5
4. インターネット上の記事や情報等を見て知っている	1.9
5. 家族や知人等から聞いて知っている	5.2
6. 何で知ったかはわからないが、知っている	31.6
7. 知らなかった	12.8
8. その他(具体的に：)	3.9
無回答	1.2

【問 12】で、2～6を選択した方のみお答えください。

【問 12 - a】あなた（あなたのご家庭）がそのお支払い方法を選択している理由を教えてください。（1つだけ選び、をつけてください。）（N = 2,975）

（％）

1．ポイントがたまるから	30.1	4．現在の方法で特に不都合はないから	32.5
2．自分の都合で好きな時に支払えるから	26.9	5．その他（具体的に： ）	3.4
3．口座振替への変更方法がわからないから	3.6	無回答	3.4

【問 13】【問 12】のお支払い方法には、それぞれ異なる金額の経費がかかります。

そのため、例えば電気料金等では、経費の少ない口座振替には、振替ごとに定額を割引くという制度があります。

このような制度について、どのように思いますか。

（あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。）（N = 2,975）

（％）

1．支払い方法による割引制度を設けた方がよい	56.1
2．割引くのではなく、経費のかかる支払い方法について手数料を上乗せした方がよい	6.7
3．支払い方法による割引や手数料を上乗せする必要はなく、現状のままでよい	19.5
4．わからない	12.6
5．その他（具体的に： ）	0.7
無回答	4.5

水道料金の仕組み

【問 14】基本水量（2ヶ月で 16 m³）内であれば、使用水量が 1 m³でも 16 m³でも、基本料金 1,420 円をお支払いいただきます。

このことについて、どのように思いますか。

（あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。）（N = 2,975）

（％）

1．基本料金も基本水量も現状のままでよい	49.9
2．基本料金を値上げして、基本水量を 16 m ³ より多くした方がよい	6.0
3．基本料金を値下げして、基本水量を 16 m ³ より少なくした方がよい	15.6
4．わからない	23.6
5．その他（具体的に： ）	1.8
無回答	3.0

【問 15】使用水量が多くなるほど 1 m³あたりの単価が高くなる従量料金について、どのように
 思いますか。

(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)
 (%)

1. 従量料金の 1 m ³ あたりの単価の差異をさらに大きくした方がよい	3.2
2. 従量料金の 1 m ³ あたりの単価の差異を小さくした方がよい	14.3
3. 一般的には大量に買うほど単価は安くなるので、従量料金の単価は 使用水量が多くなるほど安くした方がよい	14.7
4. 節水を促すものなので、現状のままでよい	45.8
5. わからない	18.2
6. その他(具体的に:)	1.3
無回答	2.5

【問 16】一般家庭への配慮から、「業務用」より「家事用」の従量料金を安くすることは必要
 だと思いますか。

(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=2,975)
 (%)

1. 一般家庭への配慮は必要がなく、「家事用」と「業務用」で 従量料金の差異を設けなくてもよい	3.0
2. 一般家庭への配慮は必要であるが、「家事用」と「業務用」 の従量料金の差異を小さくした方がよい	9.8
3. 一般家庭への配慮は必要であり、「家事用」と「業務用」の 従量料金の差異をさらに大きくした方がよい	20.5
4. 一般家庭への配慮は必要であり、現状のままでよい	51.4
5. わからない	12.8
6. その他(具体的に:)	0.5
無回答	2.0

水道事業について知りたい情報

【問 17】あなたが水道に関して知りたい情報は次のどれですか。

(いくつでも 選び、 をつけてください。) (N = 2,975)

(%)

1. 水源の貯水量	25.9	9. 水漏れ発見方法・水漏れ修理の申込先	32.3
2. 水源や水道水の水質情報	50.7	10. 水道料金に関する情報	22.4
3. 安全でおいしい水への取組み	53.0	11. 水道事業の経営状況	9.5
4. 環境への取組み	24.7	12. 水道に関する各種手続き	7.3
5. 災害対策・危機管理への取組み	45.3	13. イベント情報	3.9
6. 災害時の給水拠点情報	54.8	14. 特になし	5.7
7. 水道管や水道施設(浄水場、配水池、 ポンプ所など)の更新への取組み	19.9	15. その他(具体的に:)	1.0
8. 断水・濁水情報	27.8	無回答	2.2

【問 18】【問 17】で をつけた情報を何によって知りたいですか。

(いくつでも 選び、 をつけてください。) (N = 2,975)

(%)

1. 県営水道広報紙「さがみの水」	42.0	7. 新聞広告	12.9
2. 神奈川県広報紙「県のたより」	41.5	8. テレビコマーシャル	16.6
3. 県営水道のホームページ	22.2	9. 駅でのポスター掲示	5.2
4. 県営水道 Facebook	2.7	10. インターネット広告	6.5
5. 「上下水道料金のお知らせ」の裏面	45.5	11. 自治会等の回覧	28.2
6. 水道営業所の窓口	1.2	12. その他(具体的に:)	1.2
		無回答	1.2

「神奈川県営水道についての事業所調査」の結果（速報）

1 調査目的

多量使用者である事業所の皆さまの水使用に関する動向や意識、神奈川県営水道（以下、「県営水道」と言う。）についてのご意見やご要望を把握し、皆さまに信頼される事業運営や経営計画策定の際の基礎資料として活用することを目的に実施した。

2 調査内容

（1）水道水等の使用状況

事業所で使用している水の種類と使用目的

（2）節水状況

節水の取り組み状況

節水効果があると考ええる設備や機器

節水効果があると考ええる日常の行動

（3）県営水道において取り組むべき事業

水道管の老朽化に伴う更新の必要性の認知と意見

県営水道が今後力を入れるべき事業

（4）水道料金の仕組み

基本水量及び基本料金への意見

従量料金の逡増制の考え方への意見

用途別料金の考え方への意見

（5）水道事業について知りたい情報

水道に関して知りたい情報

知りたい情報を得るための媒体

3 調査設計

調査対象地域	県営水道給水区域内の 12 市 6 町
調査対象	対象区域内に所在する業務用料金を適用している企業・事業所のうち年間使用水量又は下水道排水量が 10,000 m ³ 以上の者
標本数	850 標本
標本抽出方法	全数
調査方法	郵送による配布及び回収
調査期間	平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 15 日

4 回収結果

（1）全体の回収結果

設計標本数	有効回収数	有効回収率
850 標本	640 標本	75.3%

5 結果の集計にあたって

結果数値は、小数点第 2 位を四捨五入してあるので、合計が 100.0%にならない場合がある。

6 回答者の属性

(1) 事業所の所在地

愛川町	1.7%
厚木市	11.6%
綾瀬市	3.1%
伊勢原市	4.5%
海老名市	5.6%
大磯町	0.3%
小田原市	0.5%
鎌倉市	5.5%
相模原市中央区	7.8%
相模原市南区	7.3%
相模原市緑区	5.6%
寒川町	3.0%
逗子市	0.8%
茅ヶ崎市	6.9%
二宮町	0.3%
箱根町	2.7%
葉山町	0.6%
平塚市	11.7%
藤沢市	14.1%
大和市	5.9%
無回答	0.5%

(2) 事業所の業種

製造業	28.1%
運輸業	1.7%
卸売、小売業	8.4%
不動産業、物品賃貸業	2.5%
飲食業	1.3%
宿泊業	5.6%
医療、福祉	20.8%
教育、学習支援業	5.9%
生活関連サービス業、娯楽業	6.3%
その他のサービス業	6.4%
その他	10.5%
無回答	2.5%

(3) 事業所の従業員数

0～9人	3.0%
10～50人	18.9%
51～100人	24.4%
101～300人	27.5%
301人以上	25.0%
無回答	1.3%

(4) 平成 27 年度分の水道水の使用状況

使用している	96.9%
使用していない	
無回答	3.1%

(5) 平成 27 年度分の地下水（井戸水）の使用状況

使用している	43.3%
使用していない	26.9%
無回答	29.8%

(6) 平成 27 年度分の再生水の使用状況

使用している	9.1%
使用していない	44.1%
無回答	46.9%

水道水等の使用状況

【問1】事業所で現在使用している水の種類と使用目的、現在は使用していないが、今後新たに使用したい水の種類と使用目的について、該当する箇所に をつけてください。
該当がない箇所は空欄で結構です。(N=640)

(%)

水の種類 使用目的	A 水道水		B 地下水 (井戸水)		C 再生水		D その他 (具体的に:)	
	使用中	新たに 使用したい	使用中	新たに 使用したい	使用中	新たに 使用したい	使用中	新たに 使用したい
1 飲用	93.9		11.7	0.9	0.5		0.5	0.2
2 飲用以外の 生活水(トイレ など)	84.5		25.6	2.2	3.4	1.6	1.4	0.3
3 製造・加工・洗 浄等の設備用	57.7		24.4	1.1	3.9	0.5	0.5	0.2
4 空調等の設備 用	49.8		16.6	1.6	1.6	0.8	0.6	
5 散水用	47.0	0.2	18.3	1.3	1.9	0.9	0.5	0.2
6 その他 (具体的に:)	6.3		3.9	0.6	0.5		0.9	
該当無し	4.8		58.9	96.6	91.4	97.5	96.9	99.7

【問1】で1つでも「新たに使用したい」に をつけた場合に、お答えください。

【問1-a】【問1】で選んだ水を使用するにあたり、一番考慮することについて をつけて
ください。

(1つだけ選び、 をつけてください。)(N=38)

(%)

1. 導入コスト	31.6	4. 運用コスト	39.5
2. 水質の安定性	13.2	5. その他(具体的に:)	5.3
3. 水量の安定性	2.6	無回答	7.9

節水状況

【問2】現在、節水に取り組んでいますか。(N = 640)

(%)

1. 目標値を持って節水に取り組んでいる (目標値:(記載例)前年比 %、月あたり m ³ など)	15.5
2. 目標値はないが節水に取り組んでいる	77.2
3. 節水に取り組んではいないが、今後取り組む予定 (平成()年度には取り組みたい)	1.4
4. 節水に取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない	3.6
5. その他(具体的に:)	1.6
無回答	0.8

【問3】節水に最も効果的であると考えられるものはどれですか。

実際に使用していなくても、事業所に導入したと仮定した場合でご回答ください。

(1つだけ選び、をつけてください。)(N = 640)

(%)

1. 業務に使用する設備における節水型機器の導入	38.6
2. 工場や事務所などの空調設備における節水型機器の導入	5.2
3. トイレや食堂など業務用以外の用途の設備における節水型機器の導入	18.1
4. 地下水の利用	23.1
5. 地下水以外の種類の水の利用(空調などの循環水を含む)	2.2
6. 特にない	7.5
7. その他(具体的に:)	3.0
無回答	2.3

【問4】節水に最も効果的だと考えられる日常の行動はどれですか。

実際に行動をしていなくても、事業所に導入したと仮定した場合でご回答ください。

(1つだけ選び、をつけてください。)(N = 640)

(%)

1. 使用水量の徹底管理	18.6
2. 従業員の意識改革による水の使用抑制	54.5
3. 業務工程の見直しによる水の使用抑制	20.0
4. 特にない	3.3
5. その他(具体的に:)	2.5
無回答	1.1

【問7】 県営水道が今後力をいれるべきだと思う事業はどれですか。

(事業所のお考えに最も近いものを3つまで選び、 をつけてください。) (N = 640)

(%)

1 . 河川や湖といった水源地域の環境保全を図り、原水の水質を良くすること	55.8
2 . 渇水時にも給水制限などがない安定した給水を行うこと	70.0
3 . 地震やその他の災害時でも、断水などがないように対策をすること	83.4
4 . おいしい水を供給すること	20.6
5 . 県営水道の高い技術を活かした、国内外での技術支援	5.3
6 . 必要な情報を提供し、お客さまの意見を広く取り入れる広報や広聴を充実させること	9.5
7 . 経営の効率化に努め、経営基盤の強化を図ること	19.7
8 . 特にない	0.3
9 . その他 (具体的に :)	1.6
無回答	0.5

水道料金の仕組み

【問8】 基本水量 (2 ヶ月で 16 m³) 内であれば、使用水量が 1 m³でも 16 m³でも、基本料金 1,420 円をお支払いいただきます。

このことについて、どのように思いますか。

(事業所のお考えに最も近いものを1つだけ選び、 をつけてください。) (N = 640)

(%)

1 . 基本料金も基本水量も現状のままでよい	57.7
2 . 基本料金を値上げして、基本水量を 16 m ³ より多くした方がよい	6.3
3 . 基本料金を値下げして、基本水量を 16 m ³ より少なくした方がよい	16.3
4 . わからない	16.1
5 . その他 (具体的に :)	2.3
無回答	1.4

【問9】使用水量が多くなるほど1 m³あたりの単価が高くなる従量料金について、どのように思いますか。

(事業所のお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=640)

(%)

1. 従量料金の1 m ³ あたりの単価の差異をさらに大きくした方がよい	1.7
2. 従量料金の1 m ³ あたりの単価の差異を小さくした方がよい	12.5
3. 一般的には大量に買うほど単価は安くなるので、従量料金の単価は使用水量が多くなるほど安くした方がよい	37.5
4. 節水を促すものなので、現状のままでよい	39.7
5. わからない	6.3
6. その他(具体的に:)	1.4
無回答	0.9

【問10】一般家庭への配慮から、「業務用」より「家事用」の従量料金を安くすることは必要だと思いますか。

(事業所のお考えに最も近いものを1つだけ選び、をつけてください。)(N=640)

(%)

1. 一般家庭への配慮は必要がなく、「家事用」と「業務用」で従量料金の差異を設けなくてもよい	4.1
2. 一般家庭への配慮は必要であるが、「家事用」と「業務用」の従量料金の差異を小さくした方がよい	20.3
3. 一般家庭への配慮は必要であり、「家事用」と「業務用」の従量料金の差異をさらに大きくした方がよい	12.7
4. 一般家庭への配慮は必要であり、現状のままでよい	51.3
5. わからない	9.5
6. その他(具体的に:)	1.6
無回答	0.6

水道事業について知りたい情報

【問 11】水道に関して知りたい情報は次のどれですか。

(いくつでも 選び、 をつけてください。) (N = 640)

(%)

1 . 水源の貯水量	24.4	9 . 水漏れ発見方法・水漏れ修理の申込先	30.9
2 . 水源や水道水の水質情報	35.2	10 . 水道料金に関する情報	26.7
3 . 安全でおいしい水への取組み	25.9	11 . 水道事業の経営状況	9.7
4 . 環境への取組み	21.9	12 . 水道に関する各種手続き	9.1
5 . 災害対策・危機管理への取組み	60.6	13 . イベント情報	1.9
6 . 災害時の給水拠点情報	60.3	14 . 特にない	4.1
7 . 水道管や水道施設(浄水場、配水池、 ポンプ所など)の更新への取組み	25.5	15 . その他(具体的に :)	0.6
8 . 断水・濁水情報	36.4	無回答	1.6

【問 12】【問 11】で をつけた情報をどのようにして知りたいですか。

(いくつでも 選び、 をつけてください。) (N = 640)

(%)

1 . 県営水道広報紙「さがみの水」	27.2	7 . 新聞広告	8.9
2 . 神奈川県広報紙「県のたより」	32.8	8 . テレビコマーシャル	9.4
3 . 県営水道のホームページ	63.7	9 . 駅でのポスター掲示	3.8
4 . 県営水道 Facebook	4.8	10 . インターネット広告	11.3
5 . 「上下水道料金のお知らせ」の裏面	35.3	11 . 自治会等の回覧	10.1
6 . 水道営業所の窓口	2.2	12 . その他(具体的に :)	1.7
		無回答	1.2